

第45回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

(第1回全日本バトントワリングジュニア選手権大会予選の部)

(第45回全日本バトントワリング選手権大会予選の部)

(第35回世界バトントワリング選手権日本代表選考会予選の部)

全国共通規定演技の部

実 施 要 項



開催日 2020年2月8日(土)・9日(日)

会 場 サイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)

主 催 日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要	P 2～3
第 1 回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会 予選の部	
第 4 5 回全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部	P 4～18
第 3 5 回世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考会 予選の部	P 19～29
全国共通規定演技の部	P 30～31
各種申し込みについて	P 32～33

郵便局払込取扱票

大会概要

【大会名称】 第45回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

【開催日時】 2020年2月8日(土)9:30~19:30(予定) 9日(日) 9:00~18:30(予定)

第1回全日本ジュニアバトントワリング選手権大会

予選の部 準々決勝・準決勝・決勝

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

第45回全日本バトントワリング選手権大会

予選の部 準々決勝・準決勝・決勝

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

第35回世界バトントワリング選手権大会日本代表選考会

予選の部

フリースタイル個人(ショートプログラム)・フリースタイルペア・フリースタイルチーム

全国共通規定演技の部

【会場】 サイデン化学アリーナ 〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1
＜アクセス＞

・JR 京浜東北線「浦和」駅 国際興業バス②乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分

・JR 埼京線「中浦和」駅 国際興業バス乗り場より「桜区役所」行き乗車
→桜区役所下車 徒歩1分

【主催】 日本バトン協会関東支部

【大会事務局】 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-42-11 中屋ビル304号室
TEL/FAX 03-5879-6466 日本バトン協会関東支部

【後援】 埼玉県・埼玉県教育委員会・(公財)埼玉県体育協会・さいたま市
(予定) (公財)さいたま市体育協会・NHK さいたま放送局・株式会社テレビ埼玉
株式会社 FM NACK5・株式会社埼玉新聞社・一般社団法人日本バトン協会

【主旨】 本大会は、競技バトンの普及・振興を図り、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、関東一円のバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深めるとともに青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。

全日本選手権予選の部は、「第45回全日本バトントワリング選手権大会」及び「第1回全日本バトントワリングジュニア選手権大会」の関東予選として開催され、種目はソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ダンストワール・ソロストラットの6種目

を実施する。

また、「第35回世界バトントワリング選手権大会日本代表選考」の関東支部選考の部としてフリースタイル個人（ショートプログラムを含む）・フリースタイルペア・フリースタイルチームを実施する。

第45回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部 実施要項

第1回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部 実施要項

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2019年11月26日(火)現在、一般社団法人日本バトン協会に2019年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
ペアのメンバーは関東支部内であれば複合を認める。尚、どちらの団体から出場するかは任意とする。
- (3) 参加者は、参加申込書を期日2019年11月26日(火)必着にて事務局に送ること。
- (4) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2019年11月26日(火)までに振り込むこと。
- (5) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2019年度ワッペンを着装すること。
- (6) 同一選手の出場は、6種目の中から2種目までとする。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失う場合もある。

全日本推薦枠数は、12月中旬に日本バトン協会関東支部ホームページに発表する。

2. 種目に関する規定

- (1) ソロトワール
- (2) トゥーバトン
- (3) スリーバトン
- (4) ダンストワール
- (5) ソロストラット
- (6) ペア

3. 部門に関する規定

※生年月日は以下の通りとする。

【ソロトワール】

- (1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニアⅠ	2011年1月1日	～	2013年4月1日
②	女子アンダージュニアⅡ	2008年4月2日	～	2010年12月31日
③	女子ジュニアⅠ	2006年1月1日	～	2008年4月1日
④	女子ジュニアⅡ	2003年1月1日	～	2005年12月31日
⑤	男子アンダージュニア	2008年4月2日	～	2013年4月1日
⑥	男子ジュニア	2003年1月1日	～	2008年4月1日
⑦	女子シニアⅠ	1999年1月1日	～	2002年12月31日
⑧	女子シニアⅡ		～	1998年12月31日
⑨	男子シニア		～	2002年12月31日

【トゥーバトン・スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニア	2008年4月2日	～	2013 年 4 月 1 日
②	女子ジュニア I	2006年1月1日	～	2008 年 4 月 1 日
③	女子ジュニア II	2003年1月1日	～	2005 年 12 月 31 日
④	男子アンダージュニア	2008年4月2日	～	2013 年 4 月 1 日
⑤	男子ジュニア	2003年1月1日	～	2008 年 4 月 1 日
⑥	女子シニア I	1999 年1月1日	～	2002 年 12 月 31 日
⑦	女子シニア II		～	1998 年 12 月 31 日
⑧	男子シニア		～	2002 年 12 月 31 日

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

①	アンダージュニア	2008年4月2日	～	2013 年 4 月 1 日
②	ジュニア I	2006年1月1日	～	2008 年 4 月 1 日
③	ジュニア II	2003年1月1日	～	2005 年 12 月 31 日
④	シニア I	1999 年1月1日	～	2002 年 12 月 31 日
⑤	シニア II		～	1998 年 12 月 31 日

※性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

①においては②③以外との組み合わせは不可とする。

④⑤においては、ジュニア I ・ II との組み合わせも可。

※補欠は認めない。

【ストラット・ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	アンダージュニア	2008年4月2日	～	2013 年 4 月 1 日
②	ジュニア I	2006年1月1日	～	2008 年 4 月 1 日
③	ジュニア II	2003年1月1日	～	2005 年 12 月 31 日
④	シニア I	1999 年1月1日	～	2002 年 12 月 31 日
⑤	シニア II		～	1998 年 12 月 31 日

※性別区分は行わない。

4. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

(1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

5. 演技順に関する規定

(1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。

(2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

6. 審査、順位に関する規定

(1) 審査員長、副審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。

① 審査員長 1 名、副審査員長 1 名以上とし、審査の円滑な遂行を総括する。

② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に 5 名とする。

③ ペナルティ審査員は 1 名とする。

(2) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。

① 準々決勝出場人数により準決勝進出人数は実行委員会において決定する。

② 準決勝上位 8 位までが決勝に進出することを基本とする。

③ 準決勝出場人数により、準決勝を行わず決勝のみとする。

(3) 順位の決定は次の通りにする。

① 審査員の評点（10 点法小数点第 2 位まで）からペナルティを差し引き審査員の得点とする。

② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

③ 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。

(4) 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

① 上記手順によっても決勝進出最終順位が同位の場合は全員決勝に進出する。

② 同率順位はそのままとし、次位を空位とする。

③ 全日本推薦最終順位が同位の場合は、評点の上下カット合計の高い方を上位とする。

※準々決勝・準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。
ただし、準決勝を行わない決勝においての棄権は棄権とする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

[6 種 目 の 審 査 は 部 門 に か か わ ら ず 下 記 の 5 つ の レ ベ ル で 評 価]

フェア [0.0～2.9]

基本的なトワリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0～4.9]

基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0～6.9]

3 モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0～8.9]

正確で、質の高いトワリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0～10.0]

すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

7. 表彰に関する規定

(1) 原則として各部門共8位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

8. 推薦に関する規定

本大会の上位者を関東支部より、第 45 回全日本バトントワリング選手権大会及び第 1 回全日本ジュニア

バトントワーリング選手権大会に推薦する。

【第45回全日本バトントワーリング選手権大会】

【第1回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会】

関東支部推薦者の手続き

関東支部より推薦された出場者は、一般社団法人日本バトン協会ホームページより参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出をすること。

※申込用紙はHPからダウンロードして下さい。

※すべての参加申し込み申請の〆切は、**2020年2月25日(火)14時までとする。**

※種目別参加費は締め切り日までに指定口座への納入を厳守すること。

締め切り日を超えた場合は出場できないこともある。

9. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査委員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

競技規定・審査規定

ソロトワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Solo Special (約1分45秒)
- (5) 内容 …1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
- ② 3モード エアリアル [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
 ロール [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
 コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）
 ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。
- (6) **リストラクション** …対象：女子アンダージュニアⅠ、女子アンダージュニアⅡ、
 （技の制限） 男子アンダージュニア
 エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル
 以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
 [女子]レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 [男子]トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、
 タイツ自由。
 [共通]シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用する
 こと。
 ※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
 3モードのバランス／両手使い
 - ② ディフィカルティー
 バトンとボディワークの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、
 コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
 バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／
 リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペリション
 プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／
 自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
 バトンの一貫したスピード／スピードコントロール
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクシヨン 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

トゥーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① コンタクトテリアル （2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
- ② ロール （両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
- ③ ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエーリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
- ④ ダブル トス トリック （2本同時に空中ヘトス）
- ⑤ ジャグル （片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
- ⑥ シャワー （両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをついている間にもう1本をパスして最初のバトンをついてキャッチ）
- ⑦ コンプレックス トリック （複雑なトリック・リリース・レセプション）
- (6) **リストラクション** …対象：女子アンダージュニア、男子アンダージュニア
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
 - ② ディフィカルティー
バトンとボディワークの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度、質
ボディワークの熟練度、質／リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスプレッション
プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
バトンの一貫したスピード／スピードコントロール
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクシヨン 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

スリーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン3本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
- ② シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
- ③ ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
- ④ ダブルトス—シングルトス
（2本同時に空中ヘトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする）
- ⑤ ハイ ロー（高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
- ⑥ スタックス（高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げ上げ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
- ⑦ トリプルトス（最初のトスをレセプションする前に、1本ずつすべて順番にリリースするもの。
または、3本のバトンすべてを同時にリリースするもの）
- (6) リストリクション …対象：女子アンダージュニア、男子アンダージュニア
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、
タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
 - ② ディフィカルティー
密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エーリアル
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトンの精密さ、安定感／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／
バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、
レボリューションの正確さ
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
エンターテインメント性／持続性&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
 - ③ デマンド
継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ペア

1. 競技規定

- (1) 人数 …2名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本（各1本）
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。

※二人がソロトワールの同じことを行うだけでなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

(6) リストリクション …対象：アンダージュニア

（技の制限）

エアーリアルにおけるジムナスティックのトリプル

以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止

(7) コスチューム

[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

① バラエティー

3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン

② ディフィカルティー

バトンとボディワークの困難度／シンクロナイズーションの困難度／コーディネーションの困難度

(2) 実施

① テクニック

バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／ペアのコントロール／リズム、タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクスペリション

ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力

③ スピード

バトンの一貫したスピード／2人の統一したスピード

(3) ペナルティ

① ドロップ

1本につき0.1点減点

② 転倒

部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点

③ アンダータイム

演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）

④ リストリクション 1回につき0.2点減点

※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ストラット

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …栄光へのマーチ（約1分30秒）
- (5) 内容 …マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

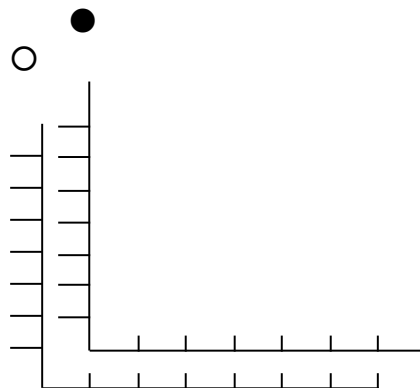
①イントロダクション8拍

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

②ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）32拍

- ・足の動き… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）[指揮杖でバンドを指揮するような動作]
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中はずっと正面（進行方向）を向く、顔は引き締める

③プレゼンテーション 32拍

- ・自由に表現できるセクション

④フォワードモーション 96拍

- ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
- ・奇数は左足、偶数は右足でステップする
- ・両脚は1拍までとする
- ・ダブルイリュージョンは踏みかえること

⑤エンディング 16拍

- ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション

- (6) リストリクション …対象：アンダージュニア
 (技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
 以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
 [女子] レオタード(袖の有無自由) 装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 [男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、
 タイツ自由。
 [共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
 ※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

- ① イントロダクション・ミリタリー ストラット
 ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング
 バトンとボディのバラエティー／バトンとボディのディフィカルティー／
 バトンとボディのオリジナリティー
- ③ フォワードモーション
 バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／
 バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

- ① テクニック
 バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムの取り方／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
 フォワードモーションにおける足踏みの誤り

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
 ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ダンストワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …輝きの時（約1分34秒）
- (5) 内容 …バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。
- (6) **リストラクション** …対象：アンダージュニア
(技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[男女共通] 自由 装飾、髪飾り自由。
帽子の脱着やコスチュームの一部が身体から完全に離れる様な脱着は不可。
シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① コレオグラフィー
バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成、振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方、ステージング
 - ② バトンとダンスワークのブレンド
バトンのバラエティー、ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトンとボディの正確さ、明確さ／動きの熟練度、質／リズム、タイミング／音楽との関わり、調和／ダンススキルの質／ボディコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
ショーマンシップ、エンターテインメント性／自信
- (3) ペナルティ
 - ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ **リストラクション** 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用することが望ましい。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- (4) 競技フロアヘタオル・パウダーなどバトン以外を持ち込んではいない。
- (5) 怪我のための包帯等は可。
- (6) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (7) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (8) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い、装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする。
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる。

第35回世界バトントワーリング選手権日本代表選考会予選の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2019年11月26日(火)現在、一般社団法人日本バトン協会に2019年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 参加者は、参加申込書を期日2019年11月26日(火)必着にて事務局に送ること。
- (3) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2019年11月26日(火)までに振り込むこと。
- (4) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2019年度ワッペンを着装すること。
- (5) 複数種目出場選手は同一団体から申し込むこと。尚、(6)①の場合を除く。
- (6) 第45回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部、
第1回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部と重複エントリーができる。
[フリースタイル個人/フリースタイルペア/フリースタイルチーム]
 - ① フリースタイルペア/フリースタイルチームのメンバーは、支部内の複合を認める。
尚、どちらの団体から出場するかは任意とする。
 - ② フリースタイルチーム・フリースタイルペアのメンバー及び補欠は日本代表選考会と同様とすること。
 - ③ 同一選手の出場は3種目の中から2種目までとする。
- (7) 日本国籍であること。

※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失う場合もある。

日本代表選考会支部推薦枠数は、12月中旬に日本バトン協会関東支部ホームページに発表する。

2. 種目・部門

- (1) 部門は以下の通りとする。

フリースタイル個人ジュニア（女子・男子）

12歳～17歳 2003年1月1日生まれ～2008年4月1日生まれ

フリースタイル個人シニア（女子・男子）

18歳以上 ～2002年12月31日

フリースタイルペアジュニア 性別区分なし

12歳～17歳 2003年1月1日生まれ～2008年4月1日生まれ

フリースタイルペアシニア 性別区分なし

18歳以上 ～2002年12月31日

フリースタイルチーム 性別区分なし

12歳以上 ～2008年4月1日

フリースタイル個人

1. ショートプログラム(必須)

・ジュニア

(1) 競技規定

- ① 人数 …1名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …縦15m×横14mの広さを目安とする
- ④ 規定曲(時間) …女子: Into the Splendid World/1分21秒
男子: Challenging Into the Future/1分19秒
- ⑤ 内容 …8つの必須スキルを規定通りに行う

プログラム構成

※アクセサリ・マテリアルは行わない

必須エレメント

ア) すべての必須エレメントは正面向きで行う

イ) 必須エレメントを行っている間、バトンは時計回りに回転する

ウ) 必須エレメントは1拍目で開始し、8カウント未満で終了する(1と7はカウント通りに行うこと)

- 1. トラベリングコンプレックス – グランジュテ
- 2. 1スピンドラインドキャッチ
- 3. 4エルボーレイアウトロール
- 4. $2\frac{1}{2}$ フラットバックネックロール
- 5. 左手ホリゾンタル右1スピン～バックキャッチ
- 6. **コンタクトマテリアル(日本バトン協会のホームページを確認のこと)**
- 7. ステーションナリーコンプレックス – リバースイリュージョン
- 8. 2スピン左手キャッチ

⑥ コスチューム

[女子] 飾りのないレオタード(袖なし) 髪の毛の装飾不可

足首までのソックスまたは肌色のタイツ

シューズは白・ベージュ・黒色は可

[男子] 飾りのないU・Vネックのトップス(袖なしまたは半袖)と長パンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ

パンツと同色の足首までのソックス

パンツと同色のシューズ可

※W B T F 規定に準ずる。<http://www.wbtf.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員(フロアモニター)はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員(フロアモニター)より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① 必須エレメント各10点(小数点第1位まで)

ア) バトンとボディの正確さ

イ) バトンとボディの明確さ

・シニア

(1) 競技規定

- ① 人数 …1名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …縦15m×横14mの広さを目安とする
- ④ 規定曲（時間） …女子：Into the Splendid World／1分21秒
男子：Challenging Into the Future／1分19秒
- ⑤ 内容 …8つの必須スキルのつなぎに自由な振付を組み合わせる

プログラム構成

必須エレメント

- ア) すべての必須エレメントは正面向きで行う
- イ) 必須エレメントを行っている間、バトンは時計回りに回転する
- ウ) 必須エレメントは1拍目で開始し、8カウント未満で終了する（1と7はカウント通りに行うこと）

1. トラベリングコンプレックス – グランジュテ
2. 1スピンドラインドキャッチ
3. 4エルボーレイアウトロール
4. $2\frac{1}{2}$ フラットバックネックロール
5. 左手水平右1スピン～バックキャッチ
6. コンタクトマテリアル（日本バトン協会のホームページを確認のこと）
7. ステーションナリーコンプレックス – リバースイリュージョン
8. 2スピン左手キャッチ

アクセサリマテリアル

（各エレメントの合間に行われるつなぎの動作で、内容はWBTF規定に準じる。）

1. コンタクトマテリアルモードのトワール
（フリップ、スウィング、ラップ、フルハンド、フィンガー、デッドスティックなど）
※バーティカルフリップは、バトンのセンターが腕を頭上に伸ばした高さより高くないこと。
バーティカルリリース（右手/左手）は、1回転以内のフリップであること。
水平フリップは、どのプレーンにおいても $1\frac{1}{2}$ 回転以内であること。
2. ハンドロール及びシングルエレメントロールは可。
フィッシュテールやフルエンジェルロールなどのダブルロールは不可。
3. 全てのダンスの動作は可。
カートウィール、イリュージョン、ウォークオーバー（片手／両手・前方／後方）、
スプリット・フロアロール、倒立などのアクロバティック動作は可。
空中アクロバティック動作は不可。

⑥ コスチューム

〔女子〕 飾りのないレオタード（袖なし） 髪の毛の装飾不可

足首までのソックスまたは肌色のタイツ

シューズは白・ベージュ・黒色は可

〔男子〕 飾りのないU・Vネックのトップス（袖なしまたは半袖）と長パンツの組み合わせ、

またはワンピーススーツ

パンツと同色の足首までのソックス

パンツと同色のシューズ可

※WBTF規定に準ずる。<http://www.wbtf.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない

(2) 審査規定

- ① 必須エレメント 各10点（小数点第1位まで）
 - ア) バトンとボディの正確さ
 - イ) バトンとボディの明確さ
- ② コンポジション 10点（小数点第1位まで）
 - ア) 音楽との調和
 - イ) 効果的なデザイン
- ③ パフォーマンス 10点（小数点第1位まで）
 - ア) 表現力
 - イ) アクセサリーマテリアルにおけるドロップを加味する
- ④ ペナルティ
 - ア) アクセサリーマテリアル違反行為（禁止動作）1回につき2.0点減点

2. フリースタイル演技

(1) 競技規定

- ① 人数 …1 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 25m の広さを目安とする
- ④ 曲（時間） …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分（過不足 10 秒可）、
シニア 2 分から 2 分 30 秒（過不足 10 秒可）の自由曲を使用
※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、MP3 にて事前に提出すること。
- ⑤ 内容 …1 本のバトンを使って以下の技術を競う
プログラム構成 …以下の組み合わせでルーティーンを構成する。
内容のガイドライン（WBTF ルールからの提案）
 - ア) エアリアル…総数ジュニア 5、シニア 6 以上とする
 - ・コンティニアススピン
 - ・ステーションアリーコンプレックス
 - ・トラベリングコンプレックス**※ジュニアはそれ以外に自由に 2 つ、シニアはそれ以外に自由に 2～3 つ推奨**
 - ・総数の内 1 つは水平のもの
 - ・総数の内 1 つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンダードキャッチのもの
 - ・総数の内 1 つは左右サム、左右バックハンド、左右水平トス以外のノンスタンダードトスのもの
 - イ) ロール …水平とバリエーションの両方
 - ウ) コンタクトマテリアル …水平とバリエーションの両方

⑥ コスチューム

スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

手のひらと顔を覆うようなものは不可。

※WBTF 規定に準ずる。<http://www.wbtf.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① テクニカルメリット
 - ア) テクニック
 - イ) スピード
 - ウ) 3 モード（エアリアル・ロール・コンタクト マテリアル）のバラエティー・ディフィカルティー
 - エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティー
 - オ) ディフィカルティー
 - カ) クリアネス&シユアネス
- ② アーティスティックエクスペリション
 - ア) ジェネラルコンテンツ
 - イ) ビジュアルミュージカルティー
 - ウ) 空中の利用度
 - エ) チェンジオブペース
 - オ) スキルの要求度
 - カ) 演技の優雅さ
 - キ) 正確さ
 - ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム
- ③ 採点・ペナルティ
 - ア) 10 点法（小数点第 2 位まで）で採点する。
 - イ) 決勝は同点なしで採点する。
 - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する。

エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

フリースタイルペア

(1) 競技規定

- ① 人数 …2 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 2 本（各 1 本）
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m の広さを目安とする
- ④ 曲（時間） …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分（過不足 10 秒可）、
シニア 2 分から 2 分 30 秒（過不足 10 秒可）の自由曲を使用
※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、MP3 にて事前に提出すること。

⑤ 内容

プログラム構成 フリースタイル演技内容をコンセプトに、エクステンジを含む。
エクステンジの種類…パターン、プレーン、高さ、バトンが描く空中の絵柄、3 モード、
リリース、キャッチ、ボディワーク、使用されるバトンの数（1 本または 2 本）、その場または移動しながらの交換。相手を見ずにあらゆる状況に対応する順応力を表現する。

⑥ コスチューム

スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

手のひらと顔を覆うようなものは不可。

※WBTF 規定に準ずる。<http://www.wbtf.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

① 内容

- ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- イ) エクステンジ
- ウ) 移動しながらのバントワーリング
- エ) 両手使い

② 実施

- ア) 滑らかさと流れ
- イ) 音楽との関わりでの速さ
- ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- エ) バトンとボディの正確な技術
- オ) ペアワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
- イ) 時間と空間の利用
- ウ) ステージング
- エ) 一貫性と倫理的な展開
- オ) エンターテインメントの価値
- カ) 表情と身仕舞い
- キ) プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

④ 採点・ペナルティ

- ア) 100 点法（小数第 2 位まで）で採点する。
- イ) 決勝は同点なしで採点する。
- ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する。
- エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

フリースタイルチーム

(1) 競技規定

- ① 人数 …6 名から 8 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 6 本から 8 本（各 1 本）
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m
- ④ 曲（時間） …3 分から 3 分 30 秒（過不足 10 秒可）の自由曲を使用
※フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、MP3 にて事前に提出すること。

⑤ 内容

プログラム構成 フリースタイル演技とフリースタイルペア内容をコンセプトに、バトンとボディのユニゾン性、シンクロニック トワーリング、バトンとボディが一体となった変化や困難度、音楽解釈に基づくステージング・フォーメーションを表現する。

⑥ コスチューム

スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

手のひらと顔を覆うようなものは不可。

※WBTF 規定に準ずる。<http://www.wbtf.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

① 内容

- ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
- イ) エクスチェンジ
- ウ) 移動しながらのバントワーリング
- エ) 両手使い

② 実施

- ア) 滑らかさと流れ
- イ) 音楽との関わりでの速さ
- ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
- エ) バトンとボディの正確な技術
- オ) チームワーク

③ 全体的効果

- ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
- イ) 時間と空間の利用
- ウ) ステージング
- エ) 一貫性と倫理的な展開
- オ) エンターテインメントの価値
- カ) 表情と身仕舞い
- キ) プロフェッショナリズム（リカバリー能力、ペアの責任）

※選手は、演技中に声を掛け合わないこと

④ 採点・ペナルティ

- ア) 100 点法（小数第 2 位まで）で採点する。
- イ) 決勝は同点なしで採点する。
- ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する。
- エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用することが望ましい。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。ただしグリップテープはシャフトの長さの $\frac{1}{2}$ までとし、センターから同等に巻くこと。
- (4) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
- (5) テープやテープの類似品以外の付属品等を使用することはできない。(視覚的補助及びハンドリング補助のためは可)
- (6) フリースタイルペア・フリースタイルチームは、グリップテープの色や巻き方を同一にすること。
- (7) 演技フロアヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- (8) 怪我のための包帯等は可。
- (9) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (10) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (11) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い。装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

2. 審査員

- (1) 審査員長・副審査員長
審査員長1名、副審査員長1名以上とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- (2) 審査員・ペナルティ審査員
 - ① ショートプログラム
 - ・ジュニア
審査員は3名（必須エレメント）
 - ・シニア
審査員は5名（必須エレメント3名、パフォーマンス・コンポジション1名、ペナルティは1名とする）
 - ・必要に応じて、フロアモニターは1名以上とする。
 - ② フリースタイル個人・フリースタイルペア
審査員は、3名とする。
 - ③ フリースタイルチーム
審査員は5名とする。
 - ・必要に応じて、審判員・フロアモニターは1名以上とする。
- (3) 準決勝は行わず、決勝のみとする。

3. 順位

- (1) フリースタイル個人
ショートプログラム
 - ・ジュニア
 - ① 必須エレメント 【8種各10点法（小数点第1位まで）】
全審査員の平均点を算出し、80点満点を100点法に換算する。
 - ② ①を10点法に換算したものを得点とする。
 - ・シニア
 - ① 必須エレメント 【8種各10点法（小数点第1位まで）】
審査員の平均点を算出する。
 - ② ①にパフォーマンス・コンポジション【各10点法（小数点第1位まで）】審査員の点数を加算する。
 - ③ ②よりペナルティ【1箇所2点】の点数を差し引く。
 - ④ ③を10点法に換算したものを得点とする。
 - フリースタイル演技
 - ① 全審査員の平均点をフリースタイル演技得点とする。
 - ② 選考は次の通りとする
- 総合成績

- ア) フリースタイル演技得点の90%とショートプログラム得点の10%を加算し決定する。
得点合計の高い方を上位とする。
- イ) 推薦最終順位が同位になった場合のみ審査員の投票によって決定する。

(1) フリースタイルペア

選考は次の通りとする。

- ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- イ) 推薦最終順位が同位になった場合のみ審査員の投票によって決定する。

(2) フリースタイルチーム

①選考は次の通りとする。

- ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- イ) 推薦最終順位が同位になった場合のみ審査員の投票によって決定する。

4. 演技順

- (1) 演技順は大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 種目重複選手に関しては考慮し、大会実行委員会にて決定する。

5. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査委員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

6. 著作権について

【フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

大会では音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない。

(1) 音楽著作権使用許諾の申請 使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。
- ④ 支部大会において許諾が取れていても、日本代表選考会の許諾は必ずとること。

※録音使用許諾については、支部大会・日本代表選考会を一括して許諾申請することができる。

尚、著作権は著作者の死後70年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある）
大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理すること。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等(コピー可)を添付すること

④ 許諾の必要がない(自作曲等)

○書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること。

- 版權所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類(添付書類を含む)の提出は事前郵送です。(PDFでメール可)

録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して下さい。

尚、著作権に関する書類、使用曲音源のMP3は、2020年1月10日(金)までに
大会事務局まで送付ください。

7. そ の 他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

1. 出場資格

- (1) 選手のエントリー数は自由とする。

2. 部門に関する規定

- (1) 部門は次の通りにする。 ※性別区分は行わない。

- ① U-6 (未就学) ② U-9 (小学校低学年) ③ U-12 (小学校高学年)
④ U-15 (中学校) ⑤ U-18 (高等学校) ⑥ O-19 (大学・一般)

3. 種目に関する規定

- (1) 種目は次の通りにする。

- ① バトン 入門・初級・中級・上級
② ポンポン 初級・中級

4. 演技に関する規定

- (1) 演技人数 … 1 名
(2) 演技に使用するバトン … 1 本 ポンポン 1 組
(3) 演技スペース … 縦 7m×横 7mを目安とするが、会場によって、また級・年齢によって若干狭くなる場合もある。
(4) 課題曲(時間) … レインボーマーチ(1 分)
(5) 演技内容(バトン)
① 入門 全国共通規定演技の振り付け (技能ライセンス 6 級～5 級の内容)
② 初級 全国共通規定演技の振り付け (技能ライセンス 6 級～3 級の内容)
③ 中級 全国共通技能演技の振り付け (技能ライセンス 6 級～2 級の内容)
④ 上級 全国共通技能演技の振り付け (技能ライセンス 6 級～1 級の内容)

演技内容(ポンポン)

- ① 初級 全国共通規定演技の振り付け
② 中級 全国共通規定演技の振り付け
(6) コスチューム(衣装) 自由(スポーツイメージであることが望ましい)

5. 審査に関する規定

- (1) 成績は次の通りとする。
金・銀・銅にて決定する。

◇審査基準 バトン

	A+・A・A-	B+・B・B-	C+・C・C-
バトンテクニック	操作を理解し 正確に実施している	操作は理解している が 実施は不安定である	操作の理解が未熟で 実施は不正確である
正しい操法 一定なリズム 正確なパターン なめらかなトワール			
ボディテクニック	動作を理解し 正確に実施している	動作は理解している が 実施は不安定である	動作の理解が未熟で 実施は不正確である
正しい姿勢 意識あるフリーハンド 正しいフットワーク 正しいボディワーク			
パフォーマンス	自信ある演技	自信のある演技に 持続性がない	自信のある演技に 欠ける
自信ある演技 楽しい表情の演技 身だしなみ			
総合評価	金	銀	銅

◇評価基準 バトン

金賞	…	バトンテクニックがAで、他の2項目にCがない場合
銅賞	…	バトンテクニックがBで、他の2項目がCの場合 バトンテクニックがCの場合
銀賞	…	上記以外

◇審査基準 ポンポン

	A+・A・A-	B+・B・B-	C+・C・C-
ポンポンテクニック	操作を理解し 正確に実施している	操作は理解しているが 実施は不安定である	操作の理解が未熟で 実施は不正確である
正確なグリップ 正確なアームポジション 正確なアームモーション			
ボディテクニック	動作を理解し 正確に実施している	動作は理解しているが 実施は不安定である	動作の理解が未熟で 実施は不正確である
正しい姿勢 意識あるボディコントロール 正確なステップワーク・ フットワーク			
パフォーマンス	音楽と調和した 自信のある演技	音楽との調和や 自信のある演技に 持続性がない	音楽との調和や 自信のある演技が 見られない
音楽リズムとの一致 アピール性 楽しい表情の演技 身だしなみ			
総合評価	金	銀	銅

◇評価基準 ポンポン

金賞	…	ポンポンテクニックがAで、他の項目にCがない場合
銅賞	…	ポンポンテクニックがBで、他の2項目がCの場合 ポンポンテクニックがCの場合
銀賞	…	上記以外

各種申込について

1. 参加申込

- (1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。
必須事項を入力し2019年11月26日（火）までに大会アドレスまでデータにて提出すること。

Eメールアドレス kanto45@tbz.t-com.ne.jp

※著作権に関する書類(添付書類を含む)の提出は事前郵送です。

※使用する音源CD-R・録音利用明細書・演奏証明書・音楽著作権使用許諾確認書を記入して、
2020年1月10日（金）までに関東支部事務局宛に送付のこと。

大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

2. 参加費

- (1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて2019年11月26日（火）迄に振込むこと。
(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。
- ① 団体参加費 1,500 円
- ② 全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部
- | | |
|---------|----------|
| ソロトワール | 6,000 円 |
| トゥーバトン | 6,000 円 |
| スリーバトン | 6,000 円 |
| ダンストワール | 6,000 円 |
| ソロストラット | 6,000 円 |
| ペア | 10,000 円 |
- ③ 世界バトントワーリング選手権大会予選 関東支部選考の部
- | | |
|------------|---------------------------|
| フリースタイル個人 | 10,000 円（※ショートプログラム費用を含む） |
| フリースタイルペア | 15,000 円 |
| フリースタイルチーム | 30,000 円 |
- ④ 全国共通規定演技 2,700 円

3. 入場券（プログラム付）

前売り券：両日 3,500 円、 各日 2,000 円 当日券：各日 2,500 円

（当日券は状況により販売できないこともある）

※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。（幼児は座席を確保しなければ不要）

※ 参加者は両日入場券不要

4. 引率者（参加申込後、引率者用リボンを送付）

- ・参加者 10 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 1 名
- ・参加者 11～20 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 2 名
- ・参加者 21～30 人まで 団体引率責任者 1 名＋引率者 3 名

※引率者はすべて入場券を不要とし、10 人増えるごと引率者が 1 名増える

※団体引率者には、プログラム 1 部進呈

＜大会事務局＞ ※上記 1～4 申込先

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304 号室

日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせは Eメールにてお願い致します。

Eメールアドレス kanto45@tbz.t-com.ne.jp

5. 課題曲CD

全日本選手権課題曲CD 1枚 2,000円（税別） [各団体責任者は必ず購入してください。]

◆上記申込先 <一般社団法人日本バトン協会> HPより手続きができます。

6. 写真撮影について

(1) 会場内での写真撮影は禁止とする。

(2) 業者による記念写真は個人の申し込み制とする。

※VTR撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止されました。今後VTR撮影券の販売は致しません。

参加費及び入場券払込取扱票見本

払込取扱票	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。
口座記号	口座番号(右詰めで記入)
001308	359400
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
日本バトン協会関東支部	料金 備考
【第45回全日本BT選手権関東支部大会参加費用】	
参加費合計 円	
×切：2019年11月26日（火）	
団体名	
通信欄・ご依頼人	日 附 印
お名前	様
(ご連絡先電話番号)	

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001308
加入者名	日本バトン協会関東支部
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
お名前	様
ご依頼人	日 附 印
料金	円
備考	

この受領証は、大切に保管してください。

払込取扱票	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。
口座記号	口座番号(右詰めで記入)
001308	359400
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
日本バトン協会関東支部	料金 備考
【第45回全日本BT選手権関東支部大会前売券申込書兼払込書】	
○前売り入場券(プログラム付)	
両日券 3,500円×	枚= 円
8日券 2,000円×	枚= 円
9日券 2,000円×	枚= 円 合計 円
※参加団体は送料不要(2回目以降は520円負担)	
×切：2020年1月17日（金） 団体名	
通信欄・ご依頼人	日 附 印
お名前	様
(ご連絡先電話番号)	

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001308
加入者名	日本バトン協会関東支部
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
お名前	様
ご依頼人	日 附 印
料金	円
備考	

この受領証は、大切に保管してください。